

# あがたメディカルホーム

## 感染予防対策

3密(密閉・密集・密接)の回避徹底。  
1 行為、1 手洗いの徹底。  
マスク着用の徹底。

### 【職員の感染対策】

- ・着替えを持参し、介助中に汚染物(排泄物、吐瀉物等)が付着した時は更衣する。  
※各部署着替え用の制服を用意する。自宅での洗濯が間に合わず、着替えを持参できなかった場合に使用する。
- ・体液、汚物は必ずプラスチック手袋を使用。1 人の入居者様につき、1 回以上交換し、同じ手袋をはめたまま他の入居者様のところに行かない、触らない。おむつ交換も必要な場合などは予め二重に手袋をして外すようにする。
- ・全介助で移乗を行う際は、ビニールエプロンを使用する。
- ・3ヶ月に1回、手洗いチェッカーを使用し、チェックリストへ自己評価を記録する。
- ・出勤前、自宅にて体温測定を行う。37.0℃以上発熱している場合と倦怠感等の症状があれば、出勤前に GM へ連絡し、判断を仰ぐ。37.0℃以下は出勤後、職員健康管理表に体温を記入する。退勤時も検温を行い記録する。記入漏れは、後日院長のもとへ報告に行く。
- ・出勤時および退勤時もマスク着用する。マスク着用時は表面を触らない。外す時は、前後に手指手洗い、ゴム紐を触って外す。入居者様のマスクを触った際は手洗い(やむを得ない場合はアルコール消毒)をする。
- ・職員同士の食事中は話さない。換気を良くする為、食事中は窓を開放する。休憩中など話す時はお互いにマスクを着用し、換気の良い条件で距離を 2m 保つようにする。
- ・フェイスシールドは職員 1 人に対して 1 枚配布(名前を記載する)し、各自で保管する。破損、汚染が強い場合は事務所へ報告し、交換する。昼休みで外す場合や、勤務終了後は必ず手袋を使用して次亜塩素酸水で拭き取りを行う  
※PPE 対応時は、毎回表面を次亜塩素酸水で拭き取る。

### 【入居者様の感染対策】

- ・食事前後で手洗い、手指消毒、居室内テーブル消毒を実施。実施後、居室内の消毒チェック表に担当職員がサインする。
- ・手洗い：居室洗面台にてハンドソープを使用し、手洗いを促す。
- ・手指消毒：本人持ちの(手指消毒用)アルコールスプレーを使用し、両手に噴霧。  
しっかりと揉み込むよう促す。
- ・食堂のテーブル消毒：食事前後に、次亜塩素酸水、午後は次亜塩素酸ナトリウムを噴霧し、キッチンペーパーで拭き取る。
- ・1日1回16:00に居室内(手すり、タンス取手、テーブル、洗面台、トイレ)の拭き取り掃除を行う。(物品は入居者様の物を使用する)
- ・居室から出る際はマスク着用。食事以外の時間はマスクを外さないよう促す。
- ・食堂ではアクリル板を使用。  
※どうしても部屋食希望者のみ居室で食事へ。
- ・居室の窓は換気のため、寒暖差が激しくなければ日中開放 + 居室のエアコンは自動モード。  
雨風でカーテンが濡れそうだと判断した場合は、カーテンレールから端のフックを1個外して開放した窓と反対側で留める。雨が降って濡れるかもと、完全に窓を閉めるのではなく、隙間を開けておくようにする。  
※10月15日より夜間は窓を閉め、日中開ける。
- ・点眼や内服時、介助を要する場合は手袋を着用。点眼は毎回交換、内服は介助を要し、直接口へ入れた場合は、内服介助後交換する。
- ・各居室に、空気清浄機付オゾン除菌脱臭器を設置。訪室する際には、電源が入っていること、設置場所は正しいかを必ず確認する。

### 【PPE 対応について】

- ・発熱時対応マニュアルを活用する。
  - ・完全に居室対応となり、食事・排泄も居室内で行う。食事は使い捨て容器を使用する。排泄はポータブルトイレを居室内に設置する。
  - ・対応期間中は、各対象者居室前に物品(マスク、手袋、キャップ、フェイスシールド、ガウン、アルコール消毒液)を準備しておく。
  - ・熱発後検査を行い、結果が出るまでは、ガウン・フェイスシールド・足袋・マスク・キャップ・手袋をし、陽性の場合そのまま、陰性の場合、ビニールエプロン、フェイスシールド・マスク・手袋に変更する。
- ※着脱方法はデイサービスパソコンに入っている動画を確認する。

- ・フェイスシールドは、着脱後に次亜塩素酸水で拭き取り、使い回すこと。
- ・HEPA フィルター付き陰圧式空気清浄機を居室に設置。熱発者の頭側に設置する。
- ・居室内に汚染物用の足踏み式ゴミ箱を用意しておく。退室する際に、手袋、キャップ、ガウンを居室内にて脱衣しゴミ箱へ入れる。ゴミ袋を捨てる際は、次亜塩素酸水を全体に噴霧する。
- ・PPE 解除後、足踏み式ゴミ箱は、次亜塩素酸水を噴霧し、**3日間**屋外で放置後、次亜塩素酸ナトリウムで拭き取った後に片づける。  
(放置場所：1Fは職員玄関外、2,3Fはベランダ)

## 【掃除】

- ・掃除用の使い捨て手袋を使用する。

### 〈掃除方法〉

- ・共用部(手すり・エレベーター・ドアノブ、照明スイッチ、その他)は1日2回(AM9:00～10:00の間、PM3:00～4:00の間)に拭き取り掃除する。
- ・月、水、金曜日は外部清掃業者(サマンサ)にて、居室、トイレ、浴室の清掃を行う。
- ・床掃除は火曜に還元水を使用、木曜は廊下・食堂・階段の毛モップによる水拭き。土曜は廊下・食堂の次亜塩素酸ナトリウム+水拭き。月・水・金は廊下・食堂を掃除機で掃除。掃除中は窓を開け換気をする。
- ・トイレ掃除は、プラスチック手袋を使用。トイレが隣接していないため、1トイレ掃除を行ったら手袋を交換する。使い捨てキッチンペーパーを、1トイレにつき2枚ずつ使用(1枚は便器、もう1枚はそれ以外)し、換気をしながら次亜塩素酸ナトリウムで拭き取り掃除。トイレ掃除については水拭きなし。

### 〈共用部拭き取り掃除用消毒液について〉

- ・午前は次亜塩素酸水、午後は次亜塩素酸ナトリウム(どちらも安形医院で作成)、スプレーボトルに入れる。

※どちらも遮光の専用ボトルを使用。

※詰め替え日の記載をする。

## 【その他】

- ・アルコール詰め替え容器は、使い切り、水洗い後に、乾燥させてから詰め替える。詰め替えたなら、詰め替えた日付の記入をする。  
同じものを1ヶ月以上使用しないこと。  
※次亜塩素酸ナトリウムは毎日交換。次亜塩素酸水は使用期限2週間。
- ・ノロウイルスにはアルコールは効果が乏しい。
- ・アルコール、次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウムの置き場所を決め、ボトルに番号を添付する。事務所にて交換頻度、使用量を確認し管理する。
- ・食堂の中央窓(前開放になる窓)は、毎食時それぞれ10分全開放する。
- ・食事提供前後は手洗いをする。手袋、フェイスシールド、エプロンを着用する。
- ・使用したエプロンは夕食介助が終わったら回収して洗濯・乾燥を行い、夜勤者が各フロアの食堂にあるハンガーに掛ける。
- ・食堂の亚克力板と椅子は、1日1回夕食終了後次亜塩素酸水にて拭き取りを行う。

令和4年9月5日 修正・追加

見目 知奈美